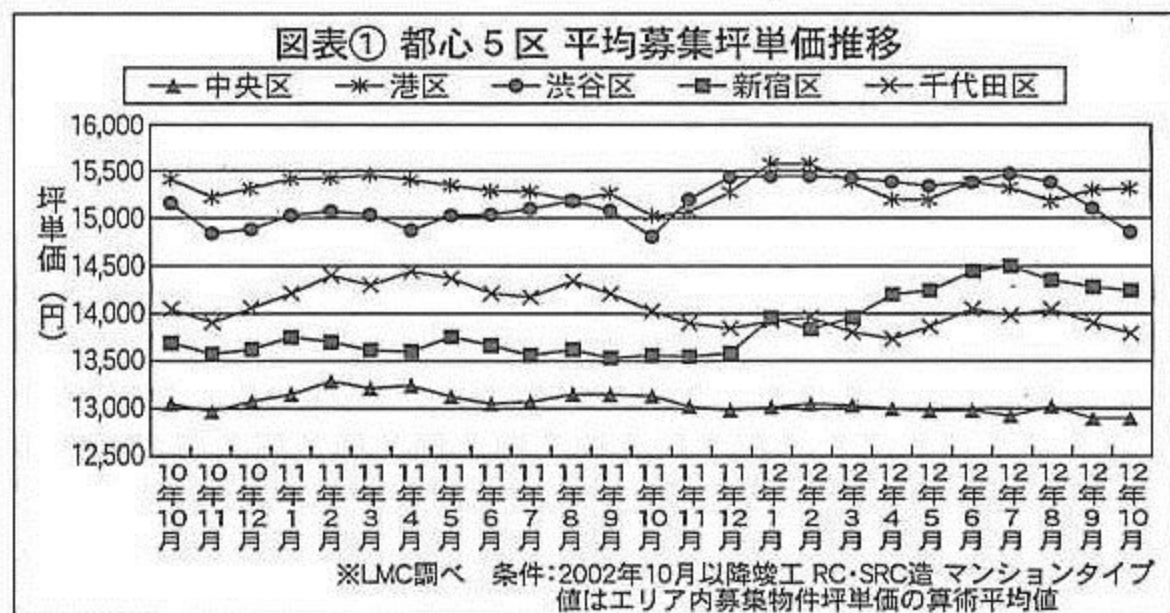


新築物件増加のため渋谷では礼金2カ月が大幅増

千代田区は礼金ゼロ物件、過半数超え



平均募集坪単価は、先月末時点と比較すると渋谷区が250円程度、千代田区が125円程度の下落。それ以外は、横ばりで推移している。渋谷区、千代田区の坪単価下落の要因としては、渋谷区では坪単価1万3000円以下、千代田区では坪単価1万2000円以下の募集戸数が増加傾向にあることがあげられる。特に渋谷区では、坪単価1万2000〜1万3000円の単身者向けの新築マンションの募集が開始したことの影響が出ていると同社では分析。

平均募集礼金は、前述のとおり、渋谷で新築物件募集開始の影響が出始めている。礼金2カ月での募集が大幅に増加した。結果、先月末時点の0.57カ月から0.7カ月へと上

社から募集情報や成約情報を獲得、利用し精度の高いリーシング戦略、戦術の立案・見直しを「賃貸マーケットデータファイル」を通してサポートしている。今データも「賃貸マーケットデータファイル エリア版」をもとに作成した。

同社では、最近の動きを見ると今後入居者情報などが重視されると見て、データを募集画面に入れることで成約、入居率を上げる1つの方法と

リーシング・マネジメント・コンサルティング(東京都港区・以下LMC)は11月30日に、10月末時点での都心主要5区(中央区、港区、渋谷区、新宿区、千代田区)の賃貸マンションの坪単価推移、礼金額推移を発表。平均募集坪単価は、先月末時点と比較すると渋谷区が250円程度、千代田区が125円程度の下落。それ以外は、横ばりで推移している。渋谷区、千代田区の坪単価下落の要因としては、渋谷区では坪単価1万3000円以下、千代田区では坪単価1万2000円以下の募集戸数が増加傾向にあることがあげられる。特に渋谷区では、坪単価1万2000〜1万3000円の単身者向けの新築マンションの募集が開始したことの影響が出ていると同社では分析。

平均募集坪単価は、先月末時点と比較すると渋谷区が250円程度、千代田区が125円程度の下落。それ以外は、横ばりで推移している。渋谷区、千代田区の坪単価下落の要因としては、渋谷区では坪単価1万3000円以下、千代田区では坪単価1万2000円以下の募集戸数が増加傾向にあることがあげられる。特に渋谷区では、坪単価1万2000〜1万3000円の単身者向けの新築マンションの募集が開始したことの影響が出ていると同社では分析。

平均募集礼金は、前述のとおり、渋谷で新築物件募集開始の影響が出始めている。礼金2カ月での募集が大幅に増加した。結果、先月末時点の0.57カ月から0.7カ月へと上

社から募集情報や成約情報を獲得、利用し精度の高いリーシング戦略、戦術の立案・見直しを「賃貸マーケットデータファイル」を通してサポートしている。今データも「賃貸マーケットデータファイル エリア版」をもとに作成した。

同社では、最近の動きを見ると今後入居者情報などが重視されると見て、データを募集画面に入れることで成約、入居率を上げる1つの方法と

LMC

